



広報

ま つ ぎ き ろ

2024

No.721

高通山 ヤマツツジ見頃を迎える (5月4日)
5月上旬にかけ、高通山のヤマツツジが見頃を迎え、多くの方が高通山に登ってヤマツツジを見たり高通山からの景色を眺めていました。

町政懇談会

5月7日から11日にかけて、町内4会場で町政懇談会を開催し、多くの皆さまのご参加をいただきました。

ものもある。

（教育委員会事務局長）

予約システム・スマートロックの導入は、予約の対応が大変なことだけでなく、利用者の利便性向上を目的としている。現在は何

5月7日旧中川小学校
（参加者25人）

○回覧版は、回ってくるのに時間がかかりイベントのお知らせが間近になって来ることもある。LINEなどでお知らせできないか。

（企画観光課長）

回覧版の電子化は西伊豆町などはすでに取り入れていて、大変よい取り組みだと考えている。当町においても前向きに検討している。

○岩科診療所はやらない方向に決まった。町長は箱物はいらない、病院がなくてもできる医療をやりますと言っていた。でもいつの間にか、民間が来るなら協力すると言っている。民間なら協力するというのはどういうことか。わかるように説明していただきたい。

（町長）岩科診療所は町が必要があるのかと思う

全てを用意するということがあった。ずっと地域医療を担ってくれている既存の診療所は助成なしでやっている中で、そこだけ町が用意して赤字補填もするということが、よいのかということで見直すこととした。南伊豆町にできた診療所に町は補助していない。そういう形で民間が来てくれれば支援する。岩科診療所計画のよ

5月8日旧岩科小学校
（参加者28人）

うに機器も用意して事業費補填するというのとは違う。

○津波が来たときにどこに避難したらいいのかかわからない。町の防災資機材・備蓄品はどこにあるのか。1次避難場所とかではなく、その後に避難する場所はどこか知りたい。

（総務課長）

避難所は勤労者体育館、松崎高校体育館・旧小学校などで、勤労者体育館は津波浸水区域内なので大雨のときなどの避

難所ということになる。他に津波の緊急避難場所は役場やまつぎ荘・西区の避難タワーなどがある。これらの避難場所にアルファ米などの備蓄食料や資機材を備えてある。

○岩科診療所の計画を中止した後の医療体制について、具体的な施策が見えないが、今後の計画はどのようになっているか。

（町長）計画されていた町が単独でお金を払って診療所をつくるということは見直して、今ある医療機関を維持していくということを県など関係機関と連携して取り組んでいる。人口が減少している中で受診者も減っ

ていて、既存の診療所や病院の経営のことも考える必要がある。もちろん町としては健康増進を図って受診を減らすという取り組みをしつつ、医療体制の維持とバランスもしつかりとっていかなければならないと

いうことで、医療関係者や県などと調整を図っている。

○松崎町のうたの会の活動などで旧岩科小学校体育館を使わせてもらっているが、この旧岩科小学校は、外から見てもカーテンが破れているし、中も楽器などの備品も閉校時からそのまま残っているという現状をみると、ここが避難所なのかと思う。ここには居たくないという避難所ではないけない。我々も使わせてもらう際には掃除などもしているが、住民の力を借りてやっていけばいい。やれるところから少しずつやっていったらいいと思う。

（教育長）

ここが閉校した際、備品など使えるものはほとんど松崎小学校に運んだが、残した物もある。時が経ってその存在を忘れてしまっているというのが現状だと思う。先ほどのありがたい申し出のように、地域の皆さんの力を借りてで

も少しずつ整理していく必要があると強く感じた。

5月10日 石部公民館
(参加者33人)

○昨年もこの懇談会で防災無線の話をしたが、今日のこの懇談会の放送も聞こえなかった。能登の災害もあったが、徹底的に対策をしてもらいたい。調査をしますと言うことだけではなく、しっかりとやってほしい。

(総務課長) 今月中旬に現地調査を行う予定で、外だけではなくお宅の中まで調査するので協力をお願いしたい。細かく調べて個別アンテナが必要かなどを確認する。放送内容はメールサービスもあるので活用していただければと思う。

○旧三浦幼稚園をサロンなどで使わせてもらっているが、水道を使えるようにしてほしい。トイレも使えないので、公民館のトイレを使っている。サロンを公民

館ではなく幼稚園でやるのはこの公民館の前の坂をお年寄りが上がれないからであるが、トイレのために結局上がるようになってしまいう。お金がかかることだということは十分理解しているが、「だれ一人取り残さない」というのであれば、そういうところもやってほしい。

(教育委員会事務局長) 旧三浦幼稚園は使っていない期間が長く、排水設備がかなり悪い状態になっていて、水道が使えないという状況。それについては確認していきたいと考えている。教育施設として再び活用するというのは見込みないかもしれないが、例えばサロンの活動がもっと活発になって、よく使われるということになれば建物の利用価値も上がってくるということもあるかと思うので、そのあたりを方向付けて再整備などを考えていかないといいなという認識は持っている。

○雲見地区の令和4年8月15日の大洪水からずっと白い水を飲んでいる。何で3年も経つのに澄んだ水が飲めないのか。

(生活環境課長) 何とか改善できるように取り組んでいるところだが原因の特定には至っていない。空気だまりの疑いのあるところが調査でわかったので、そこについてエアー弁を設置した。それで改善されるか、まだわからないが、やれるところからやっていく。長い期間ご迷惑をお掛けして申し訳ありませんが、ご理解をお願いしたい。

5月11日 環境改善センター
(参加者40人)

○休耕田を減らすには、農業機械を町で所有して、みんなで共有して使えるようにすればいい。石部の棚田のようなオーナー制度もいい。(産業建設課長) 休耕田対策としての農機具の貸し出しについては、近隣自治体で

は例がない。田植えなどの作業は時期が重なるため多くの農機具が必要となり、町が用意して貸し出すことは考えていない。

○松崎海岸の防潮堤のかさ上げは、いつごろ着工するのか。防潮堤が高くなっても河口に水門がないと防げない。河口周辺の皆さんと十分話し合いをして進めてほしい。

(産業建設課長) 現状6メートルの防潮堤を1.5メートルかさ上げして、7.5メートルに整備する計画だが、液状化による地盤沈下の影響を考慮し8.2メートルの高さのところもある。数カ月で設計ができる予定なので、でき次第皆さんにお知らせする。早ければ令和6年度中に工事に入る予定。水門は県の方で河川整備計画を立てていて、しゅんせつなどの治水や利水、環境などいろいろなことを考慮して策定作業を進めている。

○デジタル化は便利になってよいことだが、人と人の関わりをなくすという危険がある。教育委員会に鍵を借りに行ったときに、職員とのコミュニケーションがあるのがよい。デジタル化には、そういったことも考慮してほしい。スマート

だけがよいのではない。

(町長) デジタル化は地域の皆さんの利便性向上のためにやることで、皆さんが受け入れやすいところから進めていく。人のつながり・支え合い・寄り添いは大切にして進めていきたい。

この他にも、たくさんのご意見・ご要望をいただきました。お寄せいただきましたご意見などは、今後の町政に反映させられるよう努めてまいりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いします。

【問合せ】

企画観光課(42)3964

「知り合う」から「深める」へ

1 はじめに

昨年度、教育委員会では、『松崎町教育大綱』を改訂し、今年度はその施策の展開2年目となります。

周知のとおり松崎町には保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校があります。このように教育施設が整っている町は、人口規模が同程度の他の町と比較してもあまり見られない好環境です。言い換えれば、このような環境が整っていることは、松崎町の大きな財産と言えます。

また、町内の子どもたちから見れば、どの教育施設でも教職員は「先生」であることに変わりはありません。このことを教職員間で再度共有しつつ、1年目の重点「知り合う」から、2年目である今年度は「深め

る」にキーワードをシフトしていきます。松崎の「先生同士」の交流がより盛んになるよう取り組みます。

2 昨年度の取り組み

5月17日には、第1回「先生大集合」を開催しました。町内6施設から多くの参加があり、先生たちの意欲を感じました。7月には8つのグループに分かれ、自然体験や施設整備といった共通体験活動を行いました。それを受け、11月17日には、第2回「先生大集合」を開催しました。松崎高校の龍門館をお借りし、アットホームな雰囲気の中、グループごとに夏の体験活動を紹介し合いました。その後は会場を移し、伊豆まつざき荘にて「みんなでごはん」を開催しました。

3 昨年度の成果と課題

7月に行った共通体験活



▲「第2回先生大集合」校種を超えたグループ活動

動後の参加者アンケートからは、「体験活動を通じて先生同士の新たなつながりが生まれた」や「今まで知らなかった松崎町のことを知る機会となった」、「教師として、自分自身の視野を広げることができた」など、多くの参加者から肯定的評価を得ることができました。体験活動を主導していた地域おこし協力隊や地域の協力者のおかげで、今まで面識のなかった先生同士が時間を共有し、コミュニケーションを図ることを通じて、「知り合う」というテーマに大きく迫ることができたと考えます。また、

活動後の声からは「夏の体験活動後に一緒に参加した方々といろいろなところでお会いし、そこでまた情報交換をすることができた」や、「先生大集合」でつながりを深めた伊豆松崎分校の教職員を派遣していただき、特別支援に視点を当てた支援を学んだ」など、校種を超え、子どもの連携に関わる部分の効果も生まれました。

その一方、「グループ内の人数が少なく限定的な交流であった」や「活動が自分の興味関心に沿うものではなかった」、「参加をしたかったが、日程が合わなかった」など、先生たちの声からは課題も挙がってきました。

4 今年度の取り組み

今年度は、昨年度の成果と課題を踏まえながら、「校種を超えた連携をさらに進めること」や「松崎のよさを先生自身が実感すること」を大切にし、キーワード「深める」を推進していきます。

特に昨年度挙げた課題に對しては、グループ数を絞ることにによりグループ内に関わる人数を増やしたり、参加者の希望に沿った活動を行ったりしながら解決を図っていきます。

なお、町内各校・園の日程調整については昨年度中に行い、今年度は多くの教職員が参加できるように工夫しました。町内の子どもたちのことを日常的に語り合える組織づくりを目指します。

5 おわりに

引き続き、松崎町ならではの教育の源流である「松崎町幼小中教職員のクレド」と「21世紀松崎町3つの実践運動」という土台も忘れず、日々の教育活動を行っていきます。

町民の皆さま方には、松崎の教育に対してご理解いただき、今まで同様、ご支援・協力をお願いします。

【問合せ】

教育委員会(42)3971

松崎高校広報～西豆と共に～

入学式



4月9日、36人の令和6年度入学生を迎えて入学式を行いました。新入生を代表して、松崎中学校出身の山田舶成さんが「これからいろいろな経験を重ねていき、壁にぶつかり、悩み、苦しく前へ進む方法がわからなくなることもあるかと思いますが、先生方や先輩、仲間に助言を求め、歩みを止めず前進していきたい」「仲間と共に切磋琢磨し、芯のあるたくましい人として成長していきたい」と高校入学に際しての決意を述べ、宣誓を行いました。

新入生オリエンテーション（1年生）



4月12日、新入生オリエンテーションを行いました。参加した1年生からは「伊豆松崎分校の生徒さんが、さまざまな地域活動や松崎高校と深く関わっていることを知り、興味が湧いた」「進路の努力は必ずついてくるという言葉を聞いて、全力で授業に参加しようと思った」などの感想が聞かれました。レクリエーションではマシュマロチャレンジに挑戦し、「みんなとの仲が深まり、これからの学校生活が楽しみのになった」と振り返っています。

前期生徒総会



4月19日、前期生徒総会を行いました。生徒会長の白川紳さんのあいさつでは、6月上旬に行われる双獅祭について、今年度のテーマである「双獅相愛」を踏まえ、学年や校種を超えたつながりのある文化祭を目指そうと宣言されました。また、より安心、安全な学校生活に向けて、全校生徒と先生方が協力しながら校則について考えていくことが提案されました。その後、各専門委員会の委員長が今年度の活動計画について報告を行いました。

令和5年度 大学等合格実績及び就職先（令和6年3月卒業生）

《四年制大学・短期大学》

静岡大学、静岡県立大学、秋田県立大学、茨城大学、北見工業大学、都留文科大学、明治学院大学、専修大学、帝京大学、城西大学、桜美林大学、山野美容芸術短期大学 など

《専修学校・専門学校》

静岡済生会看護専門学校、沼津市立看護専門学校、横浜医療センター附属横浜看護学校、中央歯科衛生士調理製菓専門学校、静岡デザイン専門学校、富士リハビリテーション大学校 など

《就職（公務員を含む）》

三島信用金庫、日本郵便(株)東海支社、伊豆森林組合、中伊豆リハビリテーションセンター、(株)ロピア など

【問合せ】 松崎高校（42）0131

ごみの減量化にご協力ください

○雑がみの収集について

昨年から新たに開始した

雑がみの収集は、4月までの5カ月で約8トンとなり、約4万個のトイレットペーパーにリサイクルされています。この数量は、当初の予想を上回るものとなり、皆さまのご協力に、深く感謝申し上げます。引き続きご協力をお願いします。

(ご注意)

汚れた紙は、リサイクルできません。汚れが取れない紙は、「可燃ごみ」として出してください。

汚れた紙が混ざっていると、周りが汚れ、リサイクルできなくなるものがさらに発生してしまいますので、ご協力をお願いします。

○松崎町の可燃ごみのごみ質について

項目	R1 (%)	R2 (%)	R3 (%)	R4 (%)	R5 (%)	5カ年平均値 (%)
ごみの種類組成分析	紙・布類	28.2	42.0	35.2	30.4	35.9
	木・竹・ワラ類	14.2	16.0	8.7	14.8	15.6
	合成樹脂類 (ゴム、プラスチックなど)	18.2	14.3	19.5	20.9	23.1
	ちゅう芥類 (生ごみ)	29.9	19.8	25.8	28.1	14.5
	不燃雑芥類 (金属、ガラスなど)	2.2	4.9	6.4	3.0	3.8
	その他 (判別が困難なものなど)	7.3	3.0	4.4	2.8	7.1
3成分	水分	60.0	52.8	50.7	60.2	57.9
	灰分	5.7	7.2	7.9	3.5	5.4
	可燃分	34.3	40.0	41.4	36.3	37.8

※クリーンピア松崎では、定期的(年4回)にごみ質の分析を行っています。表の値はその平均値です。

※可燃ごみとして出されたごみをピットからクレーンで搬出して分析しています。

○ごみ減量化の施策

上の表のとおり、松崎町の可燃ごみの多くは「紙・布類」「合成樹脂類」「ちゅう芥類(生ごみ)」です。

「紙・布類」は、これまでの新聞紙、雑誌、段ボール、紙パックに加え、昨年12月から雑がみを収集していますが、広域の資源化施設の建設に併せ、布類の分別収集を行う予定です。

「合成樹脂類」は、ペットマーク製品を収集していますが、広域の資源化施設の建設に併せ、プラマーク製品の分別収集を行う予定です。

「ちゅう芥類(生ごみ)」は、その成分の多くが水分です。水きり徹底をお願いします。生ごみ処理機やコンポストの補助制度もありますので活用ください。

○各家庭へのお願い

ごみ減量化は、家庭でのさまざまなご協力が不可欠です。特に3R活動にご協力いただきますようお願いいたします。

- ・リデュース(発生抑制)
食材は、使い切り、食べ残さないようにしたり、使い捨ての商品は、使用しないようにしましょう。
- ・リユース(再使用)
一升瓶などの再使用できる物品の回収率を高めましょう。
- ・リサイクル(再資源化)
使い終わったものを、きちんと分別し、資源として活用しましょう。



○可燃ごみ収集について

可燃ごみは、必ず町指定の袋を使用し、必ず名前を書いて、収集日当日の午前8時15分までに、お住まいの地区の集積場所へ出してください。

集積場所は、土地などを提供してくださる方や清掃、管理に努めている方など、地区の方々によって管理されています。地区で決められたルールを守って清潔に使うよう心掛けてください。

※他の地区のごみ集積場所には出さないでください。
古紙類などは、汚れていたりリサイクルできないものなど以外は、可燃ごみにしないでください。

収集員が怪我をしたり、焼却炉の故障の原因となりますので、可燃ごみの袋に可燃ごみ以外の物は、絶対に入れないでください。

【問合せ】

生活環境課(42)3969
クリーンピア松崎(45)0602

伊豆の長八美術館40周年記念事業

「東京歌舞伎座に漆喰鍍絵が展示されます！」

昭和59年7月14日、左官の名工・入江長八の偉業をたたえて「伊豆の長八美術館」が開館しました。全国の左官職人が力を合わせて築いた白亜の殿堂は、今年で40周年を迎えることから、さまざまなイベントや事業を計画しています。

そのひとつとして、東京歌舞伎座に漆喰鍍絵が展示されます。図柄は、歌舞伎の名優・6代目中村時蔵(初代萬壽)家に伝わる定紋「桐蝶」。町内の左官職人、中村一夫氏の手によるもので、

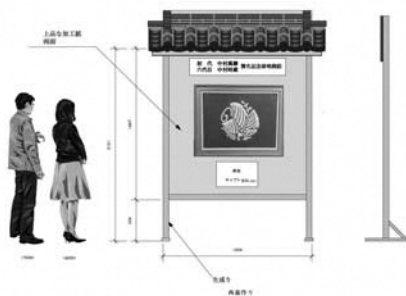


▲完成した鍍絵「桐蝶」

町内の書家、大場加代子氏の書が添えられています。去る3月に行われた40周年プレイベント「石部棚田でアート発表会」にご出演いただいた中村芝翫丈とのご縁で、この6月に歌舞伎座で開催される初代中村萬壽丈・6代目中村梅枝丈初舞台公演を記念してこの鍍絵が制作、展示されることになりました。同時に松崎町の観光パンフレットなども設置され、長八美術館のみならず松崎町全体のPRに大いに役立っています。

また、石部の棚田でも40周年記念事業である「棚田でアート」が着々と進行しています。5月には松崎小学校5年生によって無事田植え作業を終え、順調に生育すれば7月ごろ交流棟横に、なまこ壁が広がるアトが生まれます。

40周年記念事業は、単発的な周年事業で終わることなく、今後へとつなぐ持続的な事業を中心に実施していく予定です。詳細は7月の開館記念日ごろに発表します。ご期待いただくとともに、ぜひ長八美術館へ足を運んでみてください。



▲展示イメージ (松竹株式会社提供)

【歌舞伎座漆喰鍍絵展示】

6月1日(土)～24日(月)
歌舞伎座2階ロビー広間
※有料エリアになります
※休演日は見学不可

【問合せ】

松崎町振興公社(42)1881

2030年の松崎のために

静岡大学 吉田 寛

「2030松崎プロジェクト」をご存じですか？

松崎を持続可能で住みやすいまちにするための2030年に向けた目標を決め、それを実現するため、いくつかのチームに分かれて活動しています。イベントや活動への参加を呼び掛けるチラシ、発表会などのご案内を見たことがあるかもしれませんね。

私は、松崎の自然や町並みの魅力に惹かれて、15年ほど前から松崎に通うようになりました。4年前に静岡大学の同僚である竹之内裕文さんに声を掛けられて、プロジェクトに参加することになりました。

「2030」の活動は、松崎周辺のハイキングコースを歩いたり休耕地を耕したり、カフェや勉強会など、楽しい機会がいっぱいです。松崎高校の「探求学習」と



▲今年2月に行われたカフェでの座談会

して生徒たちと活動することもあります。

松崎に思いのある人ならいつでもだれでも大歓迎。イベントやカフェなどぜひお気軽に顔を出してみてください。一緒に楽しみながら、2030年に向けて地域づくりをしましょう！



▲「2030松崎プロジェクト」のホームページ

【問合せ】

企画観光課(42)3964

6月は土砂災害防止月間です

6月は、国土交通省が定める「土砂災害防止月間」です。近年、異常気象などによる豪雨が各地で発生し、土砂災害によって大きな被害が発生しています。これから梅雨や台風の季節となりますが、いつ起こるか分からない土砂災害から命を守るには、土砂災害の危険性を認識し、気象情報などの情報収集に努め、早めの避難を心掛けましょう。

土砂災害とは？

土砂災害とは、大雨や地震などにより、山や崖が崩れたり、水と混じり合った土や石、流木などが川から流れたりすることによる自然災害です。

土砂災害には、急傾斜地の崖崩れや、土石流があります。これらの土砂災害について、発生の恐れのある区域が静岡県により指定さ

れており、被害の危険度に応じて、「土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）」と「土砂災害警戒区域（イエローゾーン）」に分かれています。

町内のどの区域で指定されているかは、松崎町土砂災害・洪水ハザードマップおよび県ホームページでご確認ください。



©NPO法人土砂災害防止広報センター

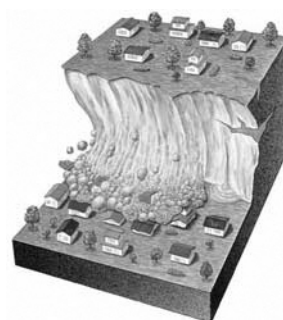
○土石流

山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などの大量の水と一緒に流れて津波のように襲ってくるものを土石流といいます。

【こんなときに注意】

・山鳴りがする。

・急に川の流れが濁り、流木が混ざっている。
・雨が降り続けているのに川の水位が下がる。



©NPO法人土砂災害防止広報センター

○崖崩れ

地震や大雨、長雨などで地面に水が染み込むことで発生しますが、土石流と違って前触れがわかりにくいため、崖崩れが発生しそうな気象状況が続いている場合は注意が必要です。

【こんなときに注意】

・崖に割れ目が見える。
・崖から小石がパラパラと落ちてきている。
・崖から木の根が切れるなど、異音がある。

【問合せ】

総務課（42）3963

地域おこし協力隊活動レポート

山田 恭暢

地域おこし協力隊として松崎町に来て、1年と半年が経ちました。

活動拠点の松崎工房では、木工の基礎の習得を課題とした木工塾の講師をはじめ、さまざまな活動をさせていただきました。お祭りの萬燈製作、

声をかけていただき、ありがとうございました。1点物の家具から、数十個から数百個単位の数物の仕事まで幅広く仕事をしました。それぞれ違う難しさがあり、勉強の毎日です。

今後の自分の方向性を定めつつ、残り半分となった協力隊の任期を全うさせていただきますと思います。

【問合せ】

企画観光課（42）3964

また、町内で

活躍されている大工さん、建具屋さんの現場も見させていただき、よい刺激をもらいました。地元の方をはじめ、いろいろと



▲木工塾での指導風景



牡蠣のキッシュ

－ここがポイント－

牡蠣には亜鉛が豊富に含まれ、塩味、旨味などの味覚を感じる味蕾（みらい）の機能を正常に保ちます。

（1食あたり）

エネルギー	タンパク質	脂質	炭水化物	食塩相当量
233kcal	8.8g	18.2g	7.6g	1.2g

－材料（4人前）－

とろけるチーズ……………2枚
卵……………2個
牛乳……………2/3カップ
生クリーム……………1/3カップ
塩・こしょう……………少々
ほうれん草……………160g
たまねぎ……………1/2個
オリーブ油……………小2
ベーコン……………2枚
生牡蠣……………100g
塩……………小1/8
酒……………大1

－作り方－

- ①生牡蠣は塩を振り洗い、鍋に入れて酒を振りから煎りする。
- ②ほうれん草を洗い、沸騰したお湯に塩を入れて茹でる。水に取り固く絞り1cm幅に切る。玉ねぎは薄切り、ベーコンは3mm幅に切る。フライパンを熱してオリーブ油を入れてほうれん草、玉ねぎとベーコンを炒めてしんなりしたら塩・こしょうを振る。
- ③①と②をグラタン皿かホイルケースに入れる。卵、生クリーム、牛乳、塩・こしょうを混ぜ合わせて入れる。
- ④上にチーズをのせる。
- ⑤180度から200度のオーブンに設定し表面がきつね色に色付くまで25分程度焼く。

【問合せ】健康福祉課（42）3966

町長コラム 第30回

消滅可能性自治体

今年4月に発表された人口戦略会議による令和6年度・地方自治体「持続可能性」分析レポートにより、全国744自治体が「消滅可能性自治体」とされました。松崎町もその中に含まれていました。少子高齢化による人口減少は、今や日本全体の話であり、将来的には、明治時代と変わらない5000万人になると推測されています。

松崎町長 深澤 準弥

地方の人口減少は、若年層の東京一極集中により輪をかけて進んでいます。日本は昔から地方と都市をバランス良く混ぜて発展してきたはずですが、江戸時代には参勤交代、明治時代には公立の高校や大学を東京だけでなく

積極的に地方に創立してきました（旧帝大と呼ばれる大学など）。

人口減少が叫ばれるこの時代だからこそ、地方が活力を取り戻し、高齢者も若者も活躍できる地域づくりが求められています。人を外から呼ぶためには、まずそこに住む自分たちがその価値に付き、誇りを持つて生きていることが、松崎町の魅力の核となります。そこにしかない歴史や文化、豊かな自然も大切です。松崎が何よりも誇れる魅力は、皆さま方が生き生きと過ごしている姿です。持続可能なまちを、みんなで力を合わせ創っていきましょう。

～ まちのできごと ～

松崎町みどりの少年団入団式



4月20日、松崎町みどりの少年団が牛原山で入団式を行いました。

みどりの少年団は、自然に触れ、郷土愛を育むことを目的に活動を行っており、今年は17人が入団しました。

入団式後は、記念植樹としてヤマツバキを植えたり、マックスバリュ松崎店で緑の募金活動を行いました。

松崎幼稚園 避難訓練

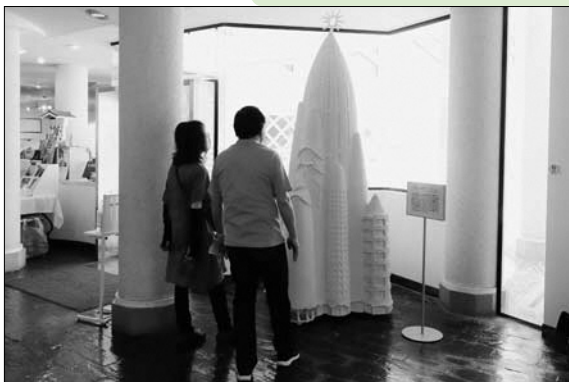
4月25日、松崎幼稚園で避難訓練が行われました。

4月に入園した年少児にとっては初めての避難訓練でしたが、年中、年長児の真似をして頭を守るなどの避難行動を学びました。

また、園長先生から、「押さない」「走らない」「しゃべらない」「戻らない」の「おはしも」の約束を聞き、有事の際に備えました。



「ニューヨーク大ホテル計画案」の模型 伊豆の長八美術館で再展示



4月27日までに、伊豆の長八美術館が収蔵する、スペインの建築家アントニ・ガウディの「ニューヨーク大ホテル計画案」の模型が全国で行われていたガウディ関連の展覧会から戻り、伊豆の長八美術館で再展示されました。

この模型は、ガウディの弟子が残した資料を基に再現されたもので、群馬県の左官職人により制作された作品です。

石部棚田畦塗り

4月27日、28日に、石部棚田で畦塗り作業が行われました。

畦塗り作業は、冬の間にひびが入ったり、モグラが穴を開けた田んぼを修復するために行われるものです。

作業には、オーナー会員や常葉大学、石部棚田保存会など2日間で約160人が参加し、全て手作業で畦塗りが行われました。



My Town Topics

石部棚田水車小屋の茅葺き屋根葺き替え現場見学会



4月28日、石部棚田水車小屋の茅葺き屋根葺き替え現場見学会が行われました。

茅葺き屋根は、令和4年から修復箇所がありブルーシートが掛けられていましたが、石部の有志の方々と南伊豆の茅葺き職人により、今年の3月から修復作業が行われました。

見学会には約50人が訪れ、製作途中の茅葺き屋根の様子を間近に見ていました。

田んぼを使った花畑「花摘み」

5月1日から5日にかけて、那賀川バイパス沿いの田んぼを使った花畑で「花摘み」が行われました。

会場に訪れた観光客は、花畑に咲いている色とりどりの花を摘んだり、摘んだ花で世界に一つだけの花かんむりを作りました。

また、会場にはこいのぼりも揚がっており、一緒に写真を撮っている親子連れもいました。



第2回まつざきオハナ・マルシェ



5月4日と5日に、第2回オハナ・マルシェが開催されました。

2回目の開催となった今回は、道の駅花の三聖苑伊豆松崎で行われ、当町と災害時における相互応援協定を結んでいる長泉町や飲食・雑貨など約42ブースが出店しました。

また、ステージパフォーマンスも行われ、多くの観光客で賑わいました。

エロイカジャパン2024

5月12日、伊豆半島でイタリア発祥の自転車競技イベント「エロイカジャパン2024」が開催され、長八美術館やクリーンピア松崎がエイドステーションとなりました。

松崎町が会場となるのは今回が2回目で、レース参加者はエイドステーションで休憩や水分補給を行った後、ゴールを目指して松崎町を走り抜けていきました。



町の人口と世帯

(令和6年4月30日現在)
()内は前月比

総人口	5,731人	(-6人)
男	2,703人	(+3人)
女	3,028人	(-9人)
世帯数	2,850戸	(+6戸)
転入	25人	転出 20人
出生	1人	死亡 12人

(4月届出分) 戸籍だより

おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
指川	しゅん せい 春 晴	男	稲葉 務

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
江奈2	土肥 征子	83	土肥幸雄
江奈4	石田 節子	83	石田剛一郎
櫻田	伏見 保夫	94	伏見せき子
中区	関 良子	98	関 和則
江奈1	真野 徳安	57	真野美和
宮内	金指 靖夫	97	鈴木嘉彦
雲見	高橋 榮	75	高橋喜久郎
道部	鈴木 眞次	78	西山恵子
山口	山本 照	82	山本 斉
峰	岩谷 直子	88	岩谷秀仁
南区	井村 必子	81	井村庄一

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

令和6年4月発生分

()内は前年同月比

人身事故	1件	(+1)
物損事故	9件	(-4)
死者	0人	(±0)
傷者	1人	(+1)

【問合せ】
健康福祉課 (42) 3966



須田 一玄さん
(中区)

3歳児健診で「虫歯」がなかった
お子さんを紹介します。

ピカピカキッズ



【問合せ】 企画観光課 (42) 3964



▲明伏地区でのホタルの乱舞の様子

5月下旬から6月下旬にかけて、町内各地でホタル鑑賞の見頃を迎えています。
ゲンジボタルが5月下旬から6月中旬に、ヘイケボタルが6月中旬から下旬に多く飛び交う傾向にあります。
雨や風がない天気の良い日がおすすめで、この機会に探しに行ってみてはいかがでしょうか。

6月の町の見頃

町内各地でホタルが乱舞します

松崎文芸

短歌

なにもない町だけど沖の夕焼は
天が下さるその日の恵み

石田 安江

祈りても変わるはずなきと思へども

今日の夕陽に祈れりまたも

岡村 芳子

年明けに地震に襲はれたる人よ

ひたすら逃げよ命はひとつ

杉山 安紀子

広報まつざき

二〇二四年六月一日発行
通刊 第七二二一 号

〒420-1396 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一
☎(五〇五)四二二二 三九六四 ㊟(五〇五)四二二二 三三八三

発行 印刷 静岡県松崎町
(株)山本印刷

編集 企画観光課